《コース専門教育科目 コース専門応用科目》

科目名	教職実践演習Ⅰ				
担当者氏名	美濃　守隆、山本　元子、加藤　達雄、昇　慶一、向出　佳司、大隅　敏明				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択必修	開講年次・開講期	2年・通年(春期)
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力					

《授業の概要》
本科目は教職免許（幼・小・中）取得希望者を対象に、10～15名程度の少人数クラス編成（希望校種を基本とする）で、教職に対する志望動機をより確かな意志へと導くとともに、教員としての幅広い視野と、充分な知識・技能を着実に身につけられるよう、継続的な指導を行うことを目標とする。

《授業の到達目標》
本科目では、上記の目標を達成するために、２年半にわたり（教職実践演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを通して）授業計画に基づき、講義、発表、見学・観察、実習等を行う。・観察、実習等については、時間割で定められた時間以外の時間（長期休暇中を含む）に実施する場合があるので注意すること。なお、下記「授業計画」の＊印の内容については、クラスにより順序が前後するので、各期最初の授業で配布する計画表を参照すること。

《成績評価の方法》
発表・実習・レポート等　70%、総合所見　30%により評価する。
「教職実践演習Ⅰ」は、「教職実践演習Ⅱ」履修の先修条件である。

《テキスト》
適宜、配布する。

《参考図書》
適宜、指示する。

《授業時間外学習》
指導者・保育者としての視点を持って予習・復習すること。
とくに音楽実技は実技試験に向けて、計画的に予習しておくこと。

《備考》

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	オリエンテーション	オリエンテーション －授業の概要・進め方・評価方法など、クラス分け（各学期始2回）
2	実技演習	「全興寺」見学 － 「平野」についての理解、学校園での校外指導の学習
3	実技演習	校外学習のしおり作成（年間3回）
4	講話	防災対策
5	実技演習	地域清掃（各班　1回）
6	講話	ノーマライゼイション(外部講師による講演)
7	実技演習	防犯講習(平野警察より担当者を招いて)
8	実技演習	救命講習理論編（大阪市消防局の講習内容に準拠）
9	実技演習	救命講習実践編（大阪市消防局の講習内容に準拠）
10	基礎学習	音楽実技、模擬授業（国語、外国語）（年間４回）
11	基礎学習	基礎学習（情報、健康）（年間４回）
12	基礎学習	基礎学習（福祉、総合学習）（年間４回）
13	基礎学習	基礎学習（教科指導、保育実践等）（各４回）
14	基礎学習	採用試験対策
15	実技演習	防災センター等で、防災に関する指導について理解を深める